

# 第1章 業務概要

第1章では、本業務の概要をとりまとめた。具体的な内容は以下に示すとおりである。

第1章 業務概要 .....	1-1
1.1 業務概要 .....	1-2
1.1.1 業務の目的 .....	1-2
1.1.2 業務の対象 .....	1-2
1.1.3 業務の検討フロー.....	1-3
1.1.4 業務の検討内容.....	1-4

## 1.1 業務概要

### 1.1.1 業務の目的

本業務は、首都圏（茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）の環状道路整備による道路交通状況の変化を把握するとともに、企業活動（立地や物流等）、観光及びその他社会経済状況等の変化を分析し、整備効果の検討を行うものである。

### 1.1.2 業務の対象

本業務の対象範囲は、以下の関東地方整備局管内である。



### 1.1.3 業務の検討フロー

本業務の検討手順は、下図のとおりである。

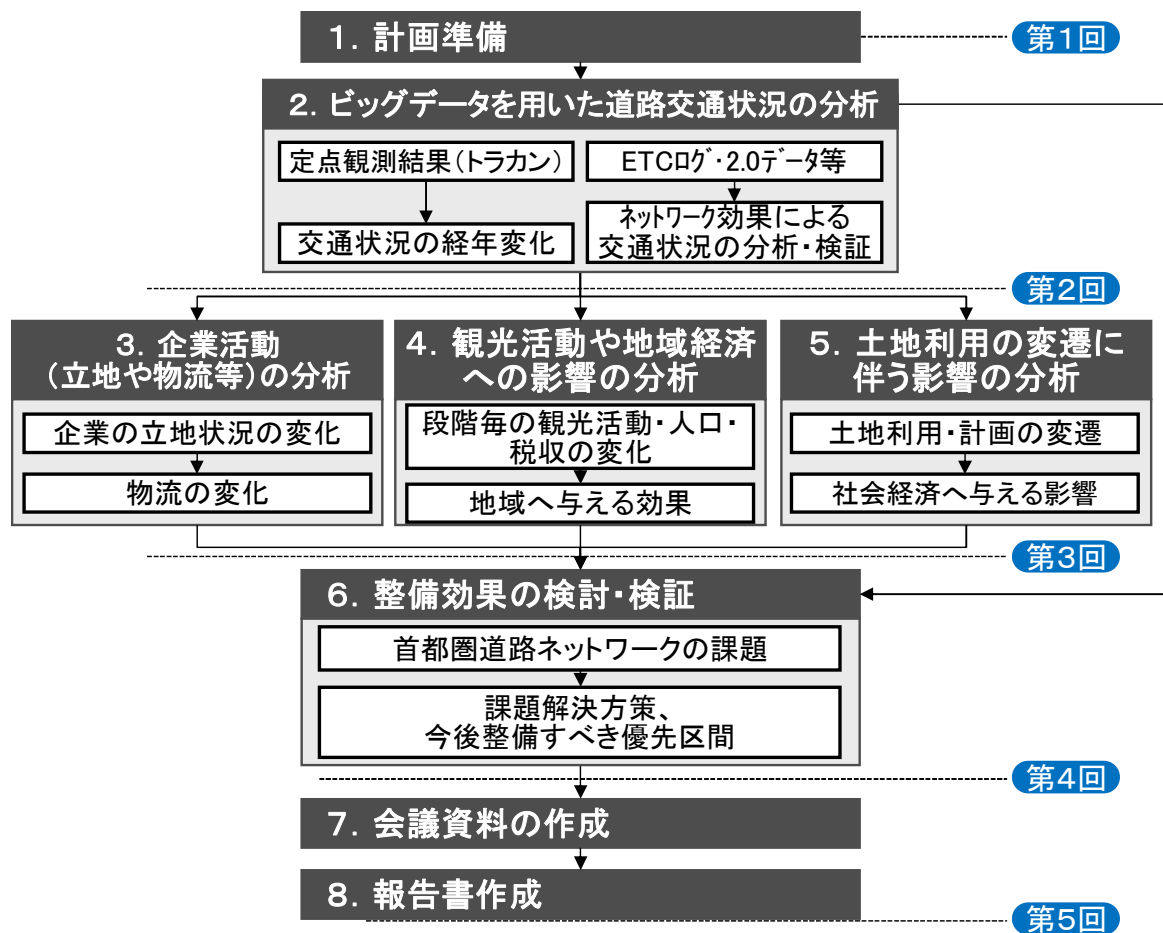


図 1.2 本業務の検討フロー

#### 1.1.4 業務の検討内容

前頁の検討フローに従い、以下に検討内容を概説する。

##### (1) 計画準備

業務の目的・主旨を把握したうえで、設計図書に示す業務内容を確認し、共通仕様書第1 1 1 2条第2項に示す事項について業務計画書を作成し、調査職員に提出した。

##### (2) ビッグデータを用いた道路交通状況の分析

別途提供された高速道路と一般道の交通量常時観測機器で観測された地点別上下別車種別交通量及び旅行速度やETCデータなどを用いて、外環道（三郷南 IC～高谷 JCT 間）開通後（H30.6～H31.1）と開通1年前（H29.6～H30.1）との8ヶ月間での首都圏全体の交通状況の変化を把握した。一般道については JARTIC から一般公開されているデータを用いて、外環道（三郷南 IC～高谷 JCT 間）開通後の沿線の交通量の変化を分析した。

また ETC データを用いた集計を行い、外環道（三郷南 IC～高谷 JCT 間）の開通後（H30.6～H30.10）と開通前（H29.6～H29.10）との5か月間での交通状況の変化を把握した。

##### (3) 企業活動（立地や物流等）の分析

環状道路の整備にあわせて、企業の立地状況や物流がどのように変化してきたのか分析した。

##### (4) 観光活動や地域経済への影響の分析

環状道路の整備にあわせて、観光活動がどのように変化してきたのか、また自治体の人口、税収等の変遷について整理し、環状道路の整備が地域に与える効果（経済、活性化等）について分析した。

##### (5) 土地利用の変遷に伴う影響の分析

環状道路の沿線の土地利用、土地利用計画の変遷等、社会経済への影響を把握し、道路整備が社会経済（地価、雇用等）へ与える影響について分析した。

##### (6) 整備効果の検討・検証

現状の交通状況の分析結果を踏まえ、首都圏の道路ネットワークの課題を整理し、課題を解決するための方策と今後整備すべき優先区間を検討した。

##### (7) 会議資料の作成

- ・地域道路経済戦略研究会 地方研究会

前記の交通状況の分析データを使用するなどし、地域道路経済研究会 地方研究会の資料作成を行った。なお研究会は計3回実施した。

##### (8) 報告書の作成

業務の成果として、共通仕様書第1 2 1 0条調査業務及び計画業務の成果に準じて報告書を作成した。なお、本業務に使用した資料、文献等はその出典先を明記した。